



NILZZ

RACING FACTORY

SUGO GT 300km RACE

2022 AUTOBACS SUPER GT ROUND.6 RACE REPORT

カテゴリ	: SUPER GT SERIES 2022 GT300 クラス	公式練習	: 1'22.202 (GT300 クラス 26 位)
エントラント	: NILZZ Racing	公式予選 Q1	: 1'21.225 (GT300 クラス B 組 13 位)
カーナンバー	: 48	公式予選 Q2	: ----
マシン名称	: 植毛 ケーズフロンティア GT-R	決勝	: GT300 クラス 25 位 (70 周)
ドライバー	: 井田太陽 / 田中優暉		
開催地	: スポーツランド SUGO(宮城県)		
開催日	: 2022.9.17~2022.9.18		
天候	: 晴れ時々曇り (9.17) / 晴れのち曇り時々雨 (9.18)		
イベント動員数	: 8,300 人 (9.17) / 17,000 人 (9.18)		

FUE 植毛
ケーゼ

アーツ銀座
クリニック

Growrance
建築工房 櫓

YELL

HITEX
www.hitex.co.jp

Arai
HELMET

YOKOHAMA

GO&FUN
GREEN ENERGY DRINK

H&F Frontier

TONE

設計・監理
曾我建築設計事務所
SOGA ARCHITECTURAL OFFICE

RAYES

SUN'S

KTEL

MOTUL

H DENTAL OFFICE

inoki

HOUSE PRO

HINODE SETSUBI Inc.

Assure Dream

ENDLESS

NISSAN nismo
NISSAN GT-R NISMO GT3
Customer Racing

CKK

POWER STATION



2022 SUPER GT シリーズ第 6 戦” SUGO GT 300km RACE” が 9 月 17 日 (土)～18 日 (日) に宮城県のスポーツランド SUGO で開催された。

今回の舞台となるスポーツランド SUGO はコース長が 3.586km と SUPER GT 開催サーキットの中で最短となるサーキット。菅生の地形を活かしたレイアウトの為、最終コーナーの 10% 勾配をはじめとしてアップダウンが大きく、タイトなコーナーも多い。この為、レース中のアクシデントが発生しやすく、攻略の難しいサーキットとなっている。

NILZZ Racing は今回のレースも井田太陽と田中優暉をエントリー。

終盤戦に入り、さらに白熱したレースとなることが予想される第 6 戦に挑んだ。

9 月 17 日 (土) 公式練習

上空に青空と白い雲が鮮やかに広がったスポーツランド SUGO。

9 時 20 分から行われた公式練習では井田、田中ともに予選、決勝に向けたプログラムに沿って周回を重ねた。

セッションも赤旗中断が入らず、順調に進む中、NILZZ Racing もプログラムを消化。

GT300 クラス専有走行の時間帯に田中が予選シミュレーションを行い、1 分 22 秒 202 のチームベストを記録したところで公式練習のセッションが全て終了。

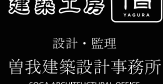
その後行われたフルコースイエロー (FCY) テストの時間を利用して予選セットの確認を行った。

NILZZ Racing の公式練習は GT300 クラス 26 位という結果となった。

9 月 17 日 (土) 公式練習

午後に行われた公式予選 Q1。NILZZ Racing は今回、B グループに割り振られた。

今回の予選アタッカーは田中。





アタックを開始した田中は計測 3 周目に自身のベストとなる 1 分 21 秒 225 を記録。

時間ギリギリまでアタックを継続するが、タイム短縮には至らず。

これにより NILZZ Racing は予選 Q1 B グループ 13 位となり、Q2 進出は果たせなかった。

その後、予選 Q2 と予選後の再車検の結果により、NILZZ Racing の予選は GT300 クラス 23 位という結果となった。

9 月 18 日 (日) 決勝

午前中まで好天に恵まれていたスポーツランド SUGO。

しかしスタート直前に、路面を濡らすまででは無かったが、雨が降り出した。

14 時 5 分、レースがスタートした。路面は雨の影響を受けていないため、NILZZ Racing を含めた全車がドライタイヤを装着してレースに挑んだ。

今回のスタートドライバーは井田。オープニングラップにクラッシュ車両排除のため、セーフティーカー (SC) が出る波乱の展開。井田はコース長が短いため、すぐに背後に迫る速度差のある GT500 マシンを上手く捌きつつ、周回を重ねていった。しかし 12 周頃から雨は本格的に降り出し、路面は一気にウェットコンディションへと変化した。

1 名のドライバーが乗車できる最大運転周回の関係により、井田はピットインまでの周回を、雨中の中、ドライタイヤで走行せざるを得ない。非常に厳しい状況下で井田は慎重に周回を重ねていった。

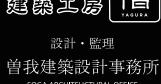
24 周を終了。井田がピットイン。ドライバーを田中へと変えてコースイン。タイヤはウェットタイヤを装着した。

コースに復帰後、雨脚は弱まり、コースは徐々に乾いていった。

45 周を超えたあたりからはドライタイヤでもいけるかも？というほどにまで路面コンディションは回復していた。

田中と無線で会話し、ドライタイヤで走行できるという判断から 48 周を終えて 2 回目のピットイン。

ドライバーはそのまま、ドライタイヤにタイヤを交換してレースに復帰させた。





レース終盤、チェッカーまであと僅かといった所で NILZZ Racing に不運が訪れる。

71 周目の S 字コーナーで田中は侵入時に縁石に乗ってしまい、そのまま真っ直ぐに突っ切るようにして、S 字コーナー出口外側のスポンジバリアに激突。田中に怪我が無かった事に安堵するも、レースへの復帰はできず、チェッカーフラッグを受けることはできなかった。

規定周回は消化していたため、NILZZ Racing は今回の第 6 戦は GT300 クラス 25 位で順位認定された。

まずはクラッシュに対して、ドライバーに怪我がなかった事は本当に幸運でした。

今回は天候の急変やアクシデントによって、我々が思った通りの展開となりませんでした。

2022 年シリーズも残す所あと 2 戦。

毎レース、そしてシリーズランキングをできる限り上位で終わることが出来るように頑張ります。

引き続き皆様のご声援、ご支援を賜ります様、宜しくお願い致します。



アーツ銀座
クリニック

